

Heroldo de HEL

N-ro 131

Septembro 2010

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

[Enhavo/目次]

- 表紙、Enhavo/目次 P. 1
- 9月11日エルプラまつり2010に参加/ドアの向こうに世界の友達! 国際語エスペラントの輪!/HOŠIDA Acuŝi P. 2
- Sub la blua ĉielo de Mongolio/La 6a Azia Kongreso de Esperanto 第6回アジア・エスペラント大会(ウランバートル) 参加記/ HOŠIDA Acuŝi
- Danke ricevitaj —受領郵便物— (星田淳 扱い) P. 4
- HEL任務の移り変わりと所感/HEL委員長 星田 淳 P. 5
- 第74回北海道エスペラント大会/北海道エスペラント連盟議案書 P. 6
[大会プログラム] [2010年度HEL 活動報告]
- [広報部事業計画] [機関誌部方針] [研究・教育部] P. 7
- [図書部整理報告] [機関誌発行報告] [2011年度HEL 活動方針] P. 8
- [広報部事業報告] [研究教育部活動報告] P. 9
- HEL 2010年度会計報告書 P. 10
- HEL 2011年度予算書(案) P. 11
- Forpasis nia pioniro, atestanto de la historio de "Danĝera Lingvo"/北海道エスペラント連盟顧問 桑原一(はじめ)さん逝去 P. 12
- 第6回委員会報告 P. 14
- [第7回委員会報告] Protokolo de la 7-a Komitato Kunsido P. 15
- [編集後記/Redaktanto parolas ...] P. 16

9月11日エルプラまつり2010に参加

ドアの向こうに世界の友達! 国際語エスペラントの輪!

HOSIDA Acusi

去年は申し込み期限過ぎての申し込みで場所に不満はあったが、それでもある程度PRにはなった。今年は場所はよかったはずだが、どうだったか?

4階の男女共同参画研究室3で10時過ぎから準備開始。室内テーブルに定番のPR資料(「国際語エスペラントへの招待」、「ほんとの国際語ってなんだろう」、手紙、雑誌などを並べ、壁には Ges-roj 加賀谷の71日間世界旅行のブログからの記事、写真。パネルには8月末苫小牧で展示したアジア大会、世界大会の資料、堀泰雄さん(JEI, UEA理事)のエスペラントカレンダーなど。あとでカレンダーのパネルは室外に出して人集めに働いてもらった。

11時から3階での開会式の各団体あいさつで短い「客寄せアピール」。まず名前を知ってもらうことが必要。

エルプラザ3、4階の体験・展示会には28団体が参加、来訪者(お客さん)に寄ってもらうために展示室近くでの呼び込み、1階エレベータ付近でのチラシ(梅棹さんの文)配布。その効果か、お客さんは終わりに近づくにつれて増えてきた。「使いやすい言葉—なに語に似てますか」、「世界旅行を可能にした国際民宿組織 Pasporta Servo」などいろいろの質問、説明。

16時閉会式、展示撤去。この行事に参加した HEL-anoj は S-inoj 阿部、後藤、山岸、川合(午前)、Ges-roj 加賀谷、S-roj 後藤、星田、横山(午前)の9名。

展示室に来場したお客さんは 昨年の46人をかなり上回っていたが(80?) 連絡先を記入してくれた人は1人だった。

Sub la blua ĉielo de Mongolio
La 6a Azia Kongreso de Esperanto
第6回アジア・エスペラント大会(ウランバートル)参加記

HOSIDA Acusi

アジア大会にはしばらくごぶさたしていたが、今度は家族の後押しもあって、JEIの旅行団に申し込んだ。子供のころ住んでいた中国の町が当時蒙古連合自治政府の首都であり「内蒙古」と呼ばれラジオでモンゴル語の歌を聞いていた記憶もプラスに作用したかもしれない。

当時家の近くにいたロシア人は「クーロン(庫倫)から来た」と言っていた。「庫倫」は中国人が付けた地名だろうが、今のウランバートル。当時と今ではすっ

かり変わっているだろうが、現在の「クーロン」を見てやろうか。

行きのコースは北京経由だったので空港で中国の samideano との連絡もできた。草原の中のウランバートル空港に着陸したのは6月18日10時50分、大会は翌日からだからこの日は市内観光。かつてのクーロンという中国名を今のモンゴル人は知らない。今は人口百万の大都市ウランバートルだ。

ここも仏教の国。寺院に行くと学生たちのグループがいた。ちょうど大学卒業の時期だという。卒業記念のお寺参りらしい。国会議事堂前のスフバートル広場にもたくさんいた。女子学生が多いから実に華やか。輪になって歌っている。意味を聞くと「家族のような仲間たち、今は別れのとき —— という、ちょっと悲しい歌です」と案内人が答えた。

歴史博物館には石器時代、青銅器時代からの資料、出土品の展示があった。フン族関係のものも。かつて匈奴として中国北辺を脅かしたが、長城ができて侵入できなくなると西に向かってヨーロッパに侵入、ゲルマン民族大移動を引き起こしてローマ帝国を滅ぼしたフン族になった —— という説もあった。ゆっくり見ればおもしろそうだったが、時間に追われてできなかったのは残念。

大会会場ホテル・ジンギスカンの、昼はワールドカップサッカーを観戦していたホールで19日19時から Interkona Vespero. 横浜UKで同宿だったイタリア人夫婦と再会。Dana s-ro bone konata(?)のアコーディオン、モンゴルの若い人たちの歌など出し物もたくさん、賑やかだった。

大会資料、Kongreslibroの準備遅れなど、不具合は多かったが、大部分が初心者で人数も百人もない仲間が力を合わせて三十数ヶ国から二百人以上を集めて初めての国際大会を開いたのだから大したもの。開会式ではモンゴル国首相の祝辞が代読された。

8月20日午後の KONGRESA UNIVERSITATO(Temo:Esperantigo de naciaj trezoroj)でアイヌの歴史、伝承作品、Ainaj Jukaroj のE. 訳について話した。前日司会者から頼まれ一夜漬けで作ったメモで15分以内に報告をまとめたが、6人の報告者、合計時間はほぼ予定通り1時間半、司会者の腕がよかったようだ。

エスペラント大会では今まで聞いたことがなかったが(初めてかもしれない)今回は北朝鮮から参加者があった。男女各1名。話によるとウランバートルに住んでいる人らしい。エスペラントは まだ話せる段階ではなかった。男は画家とか、参加者の似顔絵を無料で描いてくれるとのこと。「女のほうは英語を話す」と聞いたので当たって見ると「エスペラントには関心がある、やってみたい。北朝鮮にも昔エスペラントをやっていた年輩者がいることは聞いている。若い人はエスペラントを知らない」とのこと。ピョンヤンの大学を出たとか。韓国からの参加者とは 同じ母語で話していた。

*SFERILO:Organo de San Francisco Esperanto Regional Organization (SFERO), 2010 年 februara kunveno 予告号. 今後メールで送ってくれる、とのこと。いつものように1頁に会合予告と前回の会合の報告、2頁(1a 2a paĝo) に大会 (ESPERANTO-U. S. A., 夏期合宿、Kuba UK) や SFERO傘下の地方会 (STANFORD, BERKELEY, SACRAMENTO, SAN FRANCISCO, Sunnyvale) の お知らせ。この号もメール受信。

*SFERILO:Someraĵoj de SFERO 一號。7月の会合と8月の事務所開放 PIKNIKO 予告号。この PIKNIKO は持ち込みパーティーらしい。

*La Informilo de NEC/センター通信 第262 号, 2010年7月16日発行, 名古屋エスペラントセンター、A4 X12頁のうちエスペラント文2頁弱、メール受信。5月の東海大会などの写真16枚。5月に亡くなった坪田幸紀さんの思い出が3編。

*Novajoj Tamtamas: Internacia Gazeto de Jokohama Esperanto-Rondo (JER, Hama-Rondo);N-ro 251/ julio 2010, A4X4頁、全文E. literatumas hama=rondanoは久保田万太郎の Hakisto kaj lia fratino, eseeas hamarondano の Vivo en la dezertlando (YAMAZAKI Masaru) はこの号で終り。

*La Tamtamo: 第423 号, 2010年7月号, A4X8頁、JER発行、日本文。巻頭文は「夏の体験発表者募集。アジア大会 (モンゴル) や世界大会 (キューバ) の話なども出そう。読書会報告、上山政夫の Mi amas について。日本庶民

生活を描いた短編名作集。「インターネットのエスペラント素材その2」はさくら文庫。

*Mejlŝtono: 2010 julio N-ro 220 仙台E会: B5X 14頁中E. 文6頁は6月の仙台E合宿(Verda Kunloĝado, 17名参加) の参加記、S-ro Pompilio の講演、第6回アジア大会 (モンゴル) 参加記など。

*Ponteto/ (Bulteno de Esperanto-Ligo en Regiono Kantoo: 関東エスペラント連盟)/ Julio 2010 N-ro 241; B5 X20頁のうちE文約12頁。Rusio: etna demando per ekzemploj el vivo de tataroj kaj baŝkiroj/Salikh Zakirov はロシアの少数民族の言語・文化・宗教のロシア化への抵抗を詳しく語る。Streta vojo al fora interno: (奥のほそ道) / Teruhiro Sasaki は「月山から象潟まで」。

*受講生通信 第131 号, 2010-8-01, 沼津エスペラント会, B5X12 頁の内E. 文は1頁半ほど。催物欄に北海道大会の予告。初級受講者に村上千映子さん (北海道富良野市)、「お便りから」に麓千代次さん (北海道乙部町) の文がある。

*La Movado;関西エスペラント連盟 (KLEG)発行,N-ro 714 aŭgusto 2010, B5X20 頁のうちE. 文4頁。Rakontaro Genĝi(源氏物語) / trad. de Tacuo Hugiimoto は連載28回で「ははきぎの巻」を終りひと休み。モバード俳壇・Rondo Hajkista/HIROTAKA 今回は11人から26句の投句あり、全部を載せきれない盛況。北海道大会予告も。

*La Vulkan; N-ro 163, Somero 2010; LA ORGANO DE HUKUOKA ESPERANTO-SOCIETO: B5 X8頁のうちエスペラント文2頁強は関西大会参加雑感

(武藤たつこ)と熊本県植木での国際合宿記事。巻頭に5月の九州大会、3頁にわたるピアウィストクUK印象記と行事参加記満載。あちこちのカラー写真がいい。

*NOVA VOJO: N-ro 465 aŭgusto-septembro 2010, EPA (エスペラント普及会)、A5 X34頁中E文9頁。ハバナUK (キューバ)、アジア大会 (モンゴル) の参加記。北海道の購読会員として高山利夫/佐々木喜一/高山清人/三井優子/田村佐登子/谷口岩雄/留目昌子/後藤純子/加藤美恵 の名がある。

*La Movado; KLEG発行, N-ro 715 sep-

tembro 2010, B5X20 頁のうちE.文5頁。巻頭の文は「エスペラントを学ぶことの意義/北川昭二」。対訳「走れメロス/太宰治・小西岳」が連載開始日韓共同開催エスペラント大会 (2011年ソウル) の頁 (E.文3頁、韓国語+日本語1頁) が中程にある。運動欄に6月の北海道初夏合宿報告。

*Ponteto/関東エスペラント連盟: Septembro 2010 N-ro 242; B5 X24頁のうちE文8頁強は日本古典文学の翻訳。連載中の「奥の細道/芭蕉」と今回新発見の「源氏物語/田村ふく訳」の夕顔の帖。夕顔だけで連載に2年ぐらいかかりそう。「指笛とエスペラント/長井宏之」や書評「F氏のエスペラントマジックわくわく訪問記」を読むとE.にも「芸」が必要か、と思うが無芸の身を恥じるのみ。

HEL 任務の移り変わりと所感

HEL 委員長 星田 淳

1932年の北海道エスペラント連盟発足後3年の1935年に発行された北海道エスペラント運動史には札幌、函館、普及会、苫小牧、小樽、帯広、旭川の7つの会の名がでてゐる。しかしこのうち普及会 (今のEPA) は道内各地に支部を置いていたし、運動史に名の載っていない鉄道エスペラント会も同様だった。他に希望社エスペラント会もあった。このような多くの道内の会をまとめ、運動の調整を図るものとして連盟は発足した。当時の文献や機関誌として出た「連盟会報」(当時は聯盟會報と言った) を見ると「北海道エスペラント会連盟」という名が暫く使われている。つまり連盟を組織するもの(メンバー)は地方会で、地方会に所属しない個人の参加希望者は「無所属会員」とし、会費も別だった時期もあった。現在の関西連盟でも原則は「団体会員」だが「個人会員」の制度もある。残念ながら地方会活動が少なくなつた今、連盟の任務も検討が必要と思われる。「地方会をまとめ、その活動を整理する」より「北海道の運動の再構築を計画し遂行する」事ではなからうか

第74回北海道エスペラント大会

北海道エスペラント連盟総会議案書

[大会プログラム]

- 10月2日(土曜日) 午前9時開場
9時半～12時 北海道エスペラント連盟総会
午後1時～2時半 世界大会に参加して 椿 正一
2時半～3時半 世界を旅して 加賀谷ご夫妻
5時～ バンケード KKR 弥勒(北4西5)
- 10月3日(日曜日) 午前9時開場
10時～11時 韓国 マーさんの Esperanto で遊ぶ
11時～12時 マーさん、セネカルさんご夫妻を囲んでみんなで話そう
午後1時～2時10分 フランスのセネカルご夫妻の講演
(通訳 SES 会長 切替英雄)
2時10分～2時40分 韓国舞踊 ホン・ウンスンさん
2時40分～3時50分 韓国の マ・ヨンテさんの講演
(通訳 HEL 委員長 星田淳)
4時～ 新執行部の第一回委員会

[2010年度 HEL 活動報告]

本年度の話題は第73回北海道大会で3年後、日本大会を札幌で開催する事が本決まりとなったことだ。6月6日初夏合宿終了後、LKKも正式に発足し、JEIから組織委員会担当の犬丸さんも参加、スケジュールなど基本的なことを協議した。組織では、従来から引き継がれていた幽霊会員を整理、現会員は65名。いっぽう三年前払い制度の導入もある程度の成果があった。パソコンによるコミュニケーションもM・MやHPで実績を上げつつある。機関誌も順調に発刊しているが、今後更に内容を充実して行きたい。

[事務局活動報告]

通常業務として、会員の会費納入を通じた会員動向の把握を会計と連携して行った。長期会費切れの2名を退会者とみなした。

HEL行事の一般参加者に2回を目安にして次の行事の案内を郵送し、HELとの関係が切れないように心がけた。

これらに使える資料の作成、保管して弾力的運用を図る。具体的にはかつて地方会があったが今は無い地域での組織作り、講習会等を計画・実施する。(候補地；小樽、室蘭など)

*北海道エスペラント大会の開催

*グループ活動やマスコミ対策など、他にできることも考え、現実的な方法を探り、可能なものから実施する。

【広報部事業計画】

広報部担当の事業は枠組みもほぼ明確になり、少しずつ内容も充実してきたと自負しています。少なくとも新年度は今の方針を踏襲します。HELのホームページ、メール・マガジンにみんなの目が集まるように努力します。具体的な今後の方針を示すと

*今後とも現事業を継続して実施し、エスペラントの普及のために貢献する。

*ホームページ、メール・マガジンを充実させるため、会員に投稿を呼びかける。

*機関誌等のPDF化を進め、その一部をテキスト化するなどしてホームページを充実する。

下記はHEL関連アドレスです。あなたのパソコンでお会いできる事を待っています。

道E連盟 <http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/index-j.htm>

日本E学会 <http://www.jei.or.jp/informo/hokkaido.htm>

札幌E会 <http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/rondo/ses-nov.htm>

苫E会 <http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/rondo/tes-j.htm>

【機関誌部方針】

新年度の機関誌編集方針はバランスの取れた魅力ある紙面にするため次のように心がけます。

*現行どおり委員会ごとに発行を続ける

*今まで書いていない会員への原稿依頼を積極的に進める。

*疎遠になっている会員に近況報告をお願いする。

【教育・研究部】

教育・研究部の目玉事業は春の合宿だが、2011年度はJEIの全国セミナーに合流する事が決まったので、セミナーへの全面協力に力を注ぎHEL独自の事業は特に予定しない。

[図書部整理報告]

HEL 蔵書の整理・廃棄について、決定後も2年間に渡って手付かずになっていたが、柴田さんから「札幌でなくても良ければ苫小牧に移したら」との申し出があったのを機会に。6月5日、柴田内科循環器科センターへ移送し、合宿参加者にも無料配布した。6月15日仕分けを終えた図書は9月5日苫小牧の柴田内科研修所へ搬送、すべての作業を終えた。以後、連盟図書部は長年の活動に終止符を打つ。忙しい中お手伝いを頂いた関係諸氏に深く感謝する。

[機関誌発行報告]

機関誌 Heroldo de HEL の今期発行実績は以下の通り

N-ro 127	Decembro	2009	20 頁
N-ro 128	Februario	2010	14 頁
N-ro 129	APrilo	2010	20 頁
N-ro 130	Julio	2010	20 頁
N-ro 131	Septembro	2010	頁

*印刷・製本の関係から委員会の折に発行しているので今年度は5回になったが、年間6回を目標にしている。

*意欲ある会員からの投稿のおかげで原稿不足は余り感じない。

*執筆者が一部に偏る傾向はある。書いたことが無いひと数人に投稿を依頼したが、応じてくれたのはSさん(昨年)だけだった。今後工夫したい。

[2011年度 HEL 活動方針案]

新年度はまず我々自からエスペラント実用の拡大を図る！講習会や展示会でエスペラントに関心を持ち、学習者を増やすのは言うまでもなく大事だが、振り返って自らが今、エスペラントをどう使っているだろうか？ 国際交流、日本からの情報の発信、姉妹都市交流などへ積極的に参加してエスペラントによる行動範囲を広げよう。

*今年度の初夏合宿は5月の[JEI 全国セミナー]に合流し、独自の合宿は行わない。セミナーの場所は真駒内青少年会館を予定。

*毎年、各地の地方会、個人に次の可能性を検討してもらい、実行の道を探る。

- ・講習会
- ・展示・説明会

一般への行事の案内・宣伝にはL・プラザやかでる2・7へのチラシの配置、新聞掲載の依頼、HEL ホームページへの掲載の三つを柱とした。聞き取り調査の結果、効果を上げている事が確認できた。

初夏合宿は総勢 23 名の参加者を得て盛会だったが、SES 会員であって HEL 会員で無い人や、Oomotoano としてのつながりで参加された人 (HEL 会員でない) が多く、新連盟員の獲得につながらなかった。一般入門者だけでなく、こういった方々にも「HEL に入ってもよい」と思ってもらえるような勧誘方法の工夫が今後の課題である。

かでる 2・7 での第 73 回北海道エスペラント大会は参加者 21 名。堀泰雄氏の講演はおおむね好評だった。

[広報部・事業報告]

- 1、HEL ホームページのアドレスを個人登録から法人登録に変えた。
- 2、行事案内を JEI と連携したので見出しは JEI で詳細は HEL で検索してください。
- 3、地方会の活動状況をホームページで公開した。
- 4、機関誌の目次 (106~130 号) をホームページに掲載し、70 号から 127 号までを PDF 化して、一般公開した。
- 5、最新の機関誌を電子媒体化し、PDF ファイルとしてサンフランシスコの地域エスペラント組織と通信テストをした。
- 6、ホームページの更新を積極的に行い、法人化によって可能になったアクセス状況を解析、把握に努めた。アクセス数は月 4000 件近くになり、SES 通信、TES 通信、初夏合宿、大会報告、アイヌ民族博物館のエス紹介等が上位を占めた。
- 7、メール・マガジンは 132 号から 141 号まで発行し、部数は漸増傾向ある。ちなみに 141 号は 1040 部の読者を得た。

[教育・研究部活動報告]

6月5日(土)6日(日)札幌市西区西野1条7丁目の**柴田内科循環器科センター**で2010年北海道初夏エスペラント合宿を行った。参加者23名。入門クラス、初級会話クラス、中級会話コースの3クラスに分けて実施した。初日は午後1時半から夜の8時半まで、二日目は朝7時半から正午までエスペラント漬けになった。合宿が成功した裏には会場を提供してくださった苫小牧の柴田さんと食事の用意万端を整えてくださった椿曜子さんの功績が大きい。特に椿さんが作ってくださったカレーライスとカツどんが絶品だった。講師を引き受けてくださった川合さん、樺山さん、星田さんありがとうございました。部として独立していながら、合宿だけしかできなかったのは残念だ。今後地方会との協働も視野に入れたい。

北海道エスぺラント連盟（H E L）
2010年度会計報告書

2010年8月10日

記

①対象期間 2009年8月1日～2010年7月31日

②保管種別 ※ 別紙「会計内訳書」参照
 (1) 現金出納
 (2) 郵便振替
 (3) ゆうちょ銀行（名義：北海道エスぺラント連盟）
 (4) ゆうちょ銀行（旧ばるる 名義：横山裕之）
 (5) 北洋銀行

収入の部

合計：1,891,609円

(単位：円)

項番	項目	2009年度 決算	2010年度 決算	備考
1	会費	267,000	69,000	2009年度については長期制会費
2	合宿参加費	36,000	48,500	
3	大会参加費	65,000	67,000	
4	図書費	7,500	8,400	
5	寄付	8,000	9,100	
6	雑収入	140,775	161,584	
7	小計	524,275	363,584	
8	前年度繰越金	1,397,549	1,528,025	
9	合計	1,921,824	1,891,609	

支出の部

合計：391,613円

(単位：円)

項番	項目	2009年度 決算	2010年度 決算	備考
1	機関誌費	72,876	32,766	
2	事務費	93,750	74,940	
3	合宿費	24,763	37,240	
4	大会費	57,520	70,185	
5	図書費	1,920	11,694	
6	雑費	142,970	164,788	
7	合計	393,799	391,613	

差引き (収入) 1,891,609円 - (支出) 391,613円 = (残高) 1,499,996円

を2011年度会計へ繰越します。

北海道エスぺラント連盟

関係書類を監査したところ、その経理は正確であったことを報告します。

印

印

6

北海道エスぺラント連盟（HEL）
2011年度予算書（案）

2010年9月3日

記

①対象期間 2010年8月1日～2011年7月31日

②保管種別 ※ 決算時に会計内訳書を作成

- (1) 現金出納
- (2) 郵便振替
- (3) ゆうちょ銀行
- (4) 北洋銀行

収入の部

合計：1,666,996円

(単位：円)

項番	項目	2010年度 決算	2011年度 予算	備考
1	会費	69,000	70,000	
2	合宿費	48,500	10,000	2011年度合宿はJEI主催
3	大会費	67,000	67,000	
4	図書販売費	8,400	5,000	
5	寄付	9,100	5,000	
6	雑収入	2,598	10,000	
7	小計	204,598	167,000	
8	前年度繰越金	1,528,025	1,499,996	
	(入金)	158,986	0	
	合計	1,891,609	1,666,996	

支出の部

合計：205,000円

(単位：円)

項番	項目	2010年度 決算	2011年度 予算	備考
1	機関誌費	32,766	35,000	
2	事務費	30,110	50,000	ネット接続料が、法人化により増額2万
3	合宿費	30,130	10,000	決算のうち、講師謝礼6,000
4	大会費	31,190	35,000	決算のうち、講師謝礼等13,140
5	会費会議費	4,565	5,000	
6	旅費交通費	86,370	60,000	交通費3万円減額（合宿講師、委員会出席の分を減額）
7	雑費	5,802	10,000	
	(図書費)	11,694	0	図書費は項目からはずす
	(現金)	158,986	0	
	合計	391,613	205,000	

差引き (収入) 1,666,996円 - (支出) 205,000円 = (残高) 1,461,996円

を2012年度会計へ繰越予定

北海道エスぺラント連盟

Forpasis nia pioniro, atestanto de la historio de "Danĝera Lingvo"

北海道エスペラント連盟顧問 桑原一（はじめ）さん逝去

HOSIDA Acusi

もと豊平町会議員、札幌市会議員、社会福祉法人理事長だった桑原一さんは2009年7月30日亡くなられた。民族・国家の壁を破って人間同士の心をつなぐエスペラントに独裁者たちが恐怖を感じた "Danĝera Lingvo" を当時実践した人だったと言える。「エスペラントによる国際通信」を理由として「治安維持法」による有罪判決を受けたのは北海道では彼1人だった。

以下桑原さんの履歴を時代を追ってたどってみる。

1914年（大正3年）10月20日 中川郡中川町（当時天塩国中川郡中川村）で出生。

1930年（昭和5年）3月 通信講習所受験、合格（合格率46分の1）

1931年（昭和6年）4月 札幌通信講習所卒業、釧路電信局電信科に勤務

このころから社会主義に関心を持ち、警察から注目されていたらしい。

1934年ごろエスペラントを学び始めた。

1936年2月郵便局の近くの斉藤病院の薬剤師（エスペランチスト）丹貞一氏から辞書などを購入、7-8月その辞書の著者・岡本好次氏が釧路に来た機会に面談。

この年の夏頃から労働組合結成準備、社会科学研究会などの活動も始める。

1936年末 IPE(=イペ、Internacia Proleta Esperantistaro) の活動の一つ、

PEK = ペク、Proleta Esperanta-Korespondado による国際通信を始めた。

当時このような活動はプロエス（=プロレタリア・エスペラント運動）と呼ばれた。国内国外のプロエス関係の機関紙を購読し、米国、ソ連、中国、オランダなどの仲間と文通したが、手紙は「検閲済」のテープ付きで受け取っていた。

1931年の満洲事変、その翌年の満洲国建国に続いて軍国日本の中国侵略が進行していたこの時期、国内の戦争反対勢力は厳しい弾圧にさらされていたが、反戦・反ファッショへの連帯を求める動きに対して先手を打った大弾圧が1937年（昭和12年）の日中戦争（支那事変）開始から翌年にかけて全国で吹き荒れた。人民戦線事件と呼ばれている。

1937年12月17日、釧路では数十名の活動家が逮捕される「釧路人民戦線事件」が起きた。桑原さんは朝6時ごろたたき起され特高刑事によって釧路署に連行さ

れた。本棚の本や原稿など行李（こうり）一杯の押収品は署の中庭で焼却され、その後強制的に「処分同意書」に拇印を押さされた。勤務時間になっても解放されず欠勤、結局留置所で解雇通知を受け取ることになる。ちょうどそのころ中国では南京大虐殺が進行中だった。

釧路と札幌で拷問と取り調べが続き翌年5月釧路刑務所へ移され裁判（予審）開始。供述書に「実践活動からは手を引く」と書いて「転向（偽装）」を表明、1938年12月保釈になり故郷中川町に帰った。あの程度の供述書で保釈されたのは「自分が黨員でもなく、下っぱだったからだろう」と本人は語っている。

保釈でも当時は「保護観察処分」となって住居も移動も裁判所の許可が必要、という生活が続いた。

1939年5月釧路地裁で公判が始まり、7月「懲役2年執行猶予5年」の判決。判決文によると「貧農家庭に生まれ富者に対する反感から階級意識をもち共産主義に共感した——」として労働運動、エスペラント通信すべてが共産党やコミンテルンの方針による世界共産主義化のためのもの、と断定、外国のエスペラント雑誌の購読も、そのための資金援助であり有罪、と述べている。

1944年、札幌で思想犯保護観察所に呼び集められ、「北ボルネオへ行かぬか」との話があった。Herolde de IEL N-ro 122 の「反体制エスペラント運動とかくされた歴史の暗部」で星田が報告した「思想犯の島流し」計画。桑原さんも参加申請を出したが船が不足で実行できず敗戦に至ったらしい。

1945年、敗戦。10月、保護観察処分解除通知が来て6年10ヵ月の監視下の生活は終わった。国民主権、戦争放棄、基本的人権保証 の日本国憲法が発布され、当然 治安維持法は廃止された。

桑原さんが北海道エスペラント大会に参加されたことが1度ある。1999年、大会テーマ「エスペラントは世代を超えて」—国際高齢者年にあたって—を掲げたときだ。札幌市民会館でのパネルディスカッション「現代お年寄り事情」にロシア、韓国、アイヌ民族のパネラーと並んで社会福祉法人理事長の立場で千九百七十年代からの老人福祉、医療費負担の変化を話して戴いた。

個人的には昔の話を伺いに行ったことがあるが「連盟顧問」という名を奉っただけ、のような気がして心苦しい。「いつか皆さんと一杯やって Internacio でも歌いましょうか」「そうしましょう」と答えたまま、実現の機会を作れなかったのが悲しい。

北海道エスぺラント連盟 第6回委員会記録

日時 2010年7月10日(土曜日) PM 1:00～

場所 札幌市 Lプラザ 2階

参加者 星田、横山、阿部、川合、後藤(純)、椿(曜)、後藤(義)

議事

- 1 組織 個人会員 48人、新規加入 なし、退会者 なし、未納者には振込用紙を同封した、新人発掘のため機関誌を送付する。
- 2 財政 初夏合宿決算 収入 45,000、会場費 11,000、食費 11,530 講師費 6,000、旅費 7,110、繰越 9,360、年度会計締め切りは7月31日、大会までの期間の代払い、代受けは後藤(義)が臨時代行する。
- 3 広報 (HP) 7月10日現在アクセス数 65,457件、内容は合宿の報告、大阪弁プラハ宣言ほか。70号～122号(1997～2008)までファイル完了。
- 4 メールマガジン 7月9日現在、140号発行、部数 1030部、記事は入門講座、合宿の報告ほか。
- 5 情報・宣伝 苫小牧で入門講習の記事が掲載(道新)されたが応募者なし。
- 6 教育・研究 札幌の土曜会は今までどおり、新人一人(熊谷さん)参加人員 8～9名、月曜会 4～5人。JEI主催 全国セミナー 会場は真駒内道青少年会館を予定、日時 来年5月3, 4, 5日前後、クラスは3～4外人講師との会話、札幌の観光案内パンフ作る、日本語原案は札幌在住者が作成する。エス文指導は柴山さん、ほか、北海道からも講師の要望あり。
- 7 図書 整理完了、苫小牧への搬送は今のところ7月24日午前中ならOK、輸送手段は赤帽などを検討、実施する。
- 8 機関誌 130号を発行、110部印刷、記事について特に反応なし。残部多し、次号から100部にする。
- 9 年間事業 HEL大会実行予定 1日目、午前総会、午後椿さんキューバUK報告、加賀谷さん世界旅行講演、各1時間半を予定、5時からバンケード。2日目、10:00～12:00セネカルさん(フランス)講演、1:00～2:30馬さん(韓国)講演、引き続きHEL委員会。
- 10 74回大会の活動報告・活動方針と財政原案作成を行う、担当は図書・機関誌(星田)、情報・教育(阿部)、組織(川合)、HP/MM(横山)、財政(椿)8月21日10時から議案の総合検討、議案書は後藤(義)がまとめ9月発行の機関誌に載せる。

文責 後藤(義)

[第7回委員会報告] Protokolo de la 7-a Komitato Kunsido

日時：2010年8月21日（土） 10:00～

場所：札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ2階会議コーナー

出席：後藤純子（司会）、阿部（記録）、星田、椿正一、横山、後藤義治

欠席：佐藤不二雄、大山口、川合（事務局長）、（椿曜子/会計 は7月31日で任期満了）

[議事]

1. 北海道大会議案書作成について

活動報告 全体は事務局（川合）作成

各部・研究教育部 実施は初夏合宿だけ

・広報部・HEL-HP アドレス変更（法人登録）

・JEI

・地方界の活動（SES, 苫小牧）

・機関誌目次入力

・過去の機関誌（1997年70号～2009年127号）のPDF化

・サンフランシスコ地域エスぺラント組織（SFERO）からのPDF情報交換申し入れ

・HP交信

・HP情報（アクセス数）

・メルマガ発行

・今後の方針 ---- これまでの活動継続と投稿呼びかけ

・機関誌部 発行回数、部数

・旧図書部および図書関連

昨年大会後の第1回委員会で廃止を決定、その後資料を仕分け、保存分は柴田内科（苫小牧）に預かっていただく。

・年間行事にエルプラまつりを加える。

会計報告 報告書の通り（2009年8月～2010年7月）

・現在 詳細の資料は監査役のもとにある。

・雑収入及び支出の雑費の額が大きいので、口頭説明する必要あり（これまでの項目で分けているが、新しい項目を立てるほうがわかりやすいかもしれない）。

時年度予算・ほぼ今年度に準ずるが、雑収入、雑費のうち高額になるものになるものは新しい項目を立てる。

・2011年合宿は JEI全国セミナーに合流するため合宿日の支出は0円で計上する。

活動方針 星田委員長が発表する。

2. 第74回北海道エスぺラント大会プログラム

Heroldo に北海道大会関係を6頁：内容は 活動報告（2頁）、

決算・予算（各1頁）、活動方針、大会プログラムを載せるが、当日プリントしてプログラムのみを一般（外部）参加者に配布する。

10月2日（土）：10:00～12:00 HEL 総会

**以下その後変更あり省略、別記事

連盟総会議案書「大会プログラム」（P. 6）参照**

対外的に Senecalさん、MAさんの講演について新聞社等へ連絡（内容判明後）
両日ともプロジェクターを用意する。

3. 全国セミナーについて

札幌の観光案内作成のための場所の選定 —— 後藤義治

4. エルプラまつり：9月11日（土）11時から

10時に集合し準備する（SES 協力）

5. 図書及び資料の運搬：9月5日（日）9時から

今おいてある札幌市西区の柴田内科循環器科研修センターで車に積み込み作業にかかり苦小牧市の柴田内科循環器科の敷地内に運搬する

6. 郵送していた機関誌を PDF版で交換する申し出がサンフランシスコからあり

今後そのような申し出があった場合は PDF化していく（読みたい人があるならプリントします）。

[編集後記/Redaktanto parolas ...]

*この号は北海道大会号となり 大会議案、プログラムを中に入れたので、編集は少し窮屈になり、ほかの記事はあまり入りませんでした。

北海道エスペラント連盟 会費/年

正会員 3000円、青年会員（26歳未満） 1500円、
購読会員 2000円、家族会員 1000円

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

ĉe HOŝIDA Acuŝi

Miyanomori 2-18-18, TOMAKOMAI

053-0844 JAPANIO

TEL-FAKS:0144-74-2539

Postgirkonto (郵便振替) : 02700-6-17075

*Sekretario: KAWAI Yuka

N-ro 45, Simin-Katudo-Sapoto-Senta

Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3

Kita-ku, Sapporo, 060-0808 Japanio

TEL-FAKS : 0126-62-4636

Retadreso : nordano@sea.plala.or.jp

*TTT-ejo : <http://www5d.biglobe.ne.jp/~hel/jp/index-j.htm>

北海道エスペラント連盟

〒053-0844 苦小牧市

宮の森町2丁目18-18

星田 淳 方

Retadreso:hosidaacusi@kir.biglobe.ne.jp

*事務局：川合由香

〒060-0808 札幌市北区

北8条西3丁目札幌エルプラザ

市民活動サポートセンター レターケースNo. 45